

## 入学式を挙行 高校総体壮行会 レスリング部の活躍

### 入学許可式を挙行

厳かな雰囲気の中、飯島慶一郎校長より入学が許可された124名の新入生に対し、お祝いの式辞がありました。緊張した面持ちで式に臨んだ新入生を代表して、1年5組の中村瑛斗君(葦崎東中出身)が、はつらつと高校生としての決意を述べました。初心を忘れず、充実した学生生活を送って欲しいと思います。次に、学年主任からホームルーム担任の先生12名が紹介されました。新入生と保護者にとっては、最も身近に関わる職員となるため、興味津々で見聞きしていました。お互いによろしく願います。一日でも早く輝かしい葦工生となってください。

### 初めてのHR(ホームルーム)

新型コロナウイルス感染防止対策をとる必要がなくなり、従来のように生徒と保護者は合同でのHRとなりました。担任の先生の一言一句に耳を傾け、どんな学校なのか?担任の先生はどんな人?クラスの友達とは仲良くなれるかな?など、不安の中にも希望がいっぱいのスタートとなりました。一日も早くこの教室と級友に慣れて、楽しい学校生活を送って欲しいと思います。

### 緊張した対面式

4月10日(水)、体育館において対面式が行われました。2・3年の先輩たちの拍手に迎えられ、緊張した面持ちで新入生が入場しました。金井翔生徒会長が歓迎の挨拶をし、1年1組の古屋咲幸さん(葦崎東中出身)が新入生代表として挨拶をしました。その後、両者の握手が交わされました。この対面式をもっていよいよ本校生徒の仲間入りです。期待と不安の中、本格的に高校生活がスタートしました。

## 高校総体壮行会

4月26日（金）、体育館において高校総体壮行式が行われました。吹奏楽部の演奏を背景に大きな拍手に迎えられ、部旗を携えた12の運動部と写真部が入場しました。飯島校長や金井生徒会長による激励の言葉のあと、ユニフォーム姿の部員たちが部ごとに壇上に登り、高校総体に向けた決意表明しました。全校生徒の応援を得て、選手たちは勝利への思いをより強く持つことが出来たはずです。

## JOCジュニアオリンピック国内予選

4月27～28日に神奈川県横浜市で行われた JOC ジュニアオリンピックカップに2名の生徒が参加してきました。この大会は17歳以下の部と20歳以下の部に分かれており、優勝すると U17 世界選手権、準優勝で U17 アジア選手権に出場できる予選の大会にもなっています。今年は17歳以下の部に参加しました。グレコローマンスタイル 60 kg級に出場した1年4組の日原煌大は初戦は不戦勝で2回戦からの登場でした。相手は今大会第1シードの相手で前半は善戦したものの途中から相手のペースに合わせてしまい一気に点数と取られてしまい負けてしまいました。同じくグレコローマンスタイル 80 kg級に出場した2年2組の小澤幸将は1回戦は試合開始早々に投げ技が決まりそのまま抑え込んでフォール勝ちでした。2回戦は1分すぎたところに一瞬の隙をつかれて相手の技を受けてしまいそのまま抑え込まれてフォール負けとなってしまいました。この大会はここ数年は毎年入賞者を輩出していましたが今年はメダル無しに終わってしまいとても悔しい気持ちでいっぱいでした。今回出場した二人はまだ1,2年生なので練習を積んで来年は優勝して世界の舞台で活躍できるようにリベンジします。また、応援よろしかったです。



まし

URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail [nirasakik-k@kai.ed.jp](mailto:nirasakik-k@kai.ed.jp)